

# 無病息災 五穀豊穰を願って



## 各地で行われたどんど焼き



第684号  
 発行人 ● 豊丘村公民館 館長 原 国人  
 編集人 ● 長野県下伊那郡 豊丘村公民館報 編集委員会  
 0265-35-9066  
 印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村  
 (2月1日現在 ※外国人を含む)  
 男 3,353人  
 女 3,406人  
 総人口 6,759人  
 世帯数 2,140戸

一月九日、毎年恒例となっている新年射会が、豊丘弓道場にて行われました。天候に恵まれ、村内外より二十五人の弓士が集まり、賑やかな射会となりました。

**弓道って楽しいんです!!**  
 豊丘弓道クラブ  
 林里一 井原寿恵

開会式の後、最初に行われるのが矢渡しです。矢渡しとは射会などの成功と無事故を祈願し、その日の初めに安土(あづち)へ矢を通す儀式の事です。矢渡しが終わると全員による「一歩ひととて」射礼が行われ、その後個人戦、団体戦を行います。昼食の後には金的(きん)つきと言った直径十cm程の的を狙います。金的を射抜いた方は道場に供えた饅頭が貰えます。

弓道と聞くと、礼に始まり礼に終わると言われ、堅苦しいイメージがあるかも知れませんが、射会ではそれぞれの方が協力していただき、毎回楽しく

しとは射会などの成功と無事故を祈願し、その日の初めに安土(あづち)へ矢を通す儀式の事です。矢渡しが終わると全員による「一歩ひととて」射礼が行われ、その後個人戦、団体戦を行います。昼食の後には金的(きん)つきと言った直径十cm程の的を狙います。金的を射抜いた方は道場に供えた饅頭が貰えます。

豊丘の部員は現在十二名ですが、仕事の都合などで練習はそれぞれ。全員が集まる事もありません。それでも年二回の射会ではそれぞれの支部の方が協力していただき、毎回楽しく

## 精神を集中し矢を射る

### 弓道クラブ 新年射会行われる

弓道は若い方から中高年の方まで、年齢を問わず楽しめるスポーツです。初心者の方にはもちろん、昔やっていたけど再開したいなと思ってる方も、豊丘弓道部をより一

層盛り上げていければなと思っております。みんなで楽しく弓を引きましょう!みなさんの入部お待ちしております!



一月三十一日のスーパ!ブルー・ブラッド・ムーンはすばらしかった。同じ自然現象ならこちらのほうが良いな。次回の皆既月食は七月だそうだ。

二月十九日の『雨水』になると雪ではなく雨が降るようになるという事らしいが、早く暖かくなると嬉しいと思う。何しろ灯油代もたいへんだ。気象庁では三十年に一回起きるか起きないかという程度の非常にめずらしい気象現象を『異常気象』と言うらしい。毎年のように言われる『気象庁が統計を開始した一八九八年以降で最も』とか『記録的な』とかはそれに準じているという事だろうか。

スリップ事故も多く、普通十分たらずの通勤に一時間以上かかったという話も聞いた。この寒さ、二月四日の『立春』までだと思いたいが、二月に入ってもまだまだ寒く大雪が降っていて、春だなんてとも思えない。

## = 子どもの教育に果たす ボランティアの役割を学ぶ =

### コミュニティスクールボランティア研修会開かれる

豊丘村では、地域が学校を応援する仕組みとしてコミュニティスクールを導入して、二年が経過しようとしています。二十九年度は百二十名を超える村民の皆さんが延べ八百回に達するボランティア活動を展開していただきました。

研修会では、まず、昨年未、ボランティアと教職員を対象に行ったアンケート調査の報告がありました。その中で、ボランティア活動を通じて子供たちを「励まして」いる一方で、実はボランティアの皆さんもまた子供たちからエネルギーをもらっている「励まされている」ことを実感している様子が調査結果から見えてきました。これは教育の営みとして大変重要なことだと思います。

研修会の最後には前下諏訪町教育長の小澤貞義先生が登壇し、同町の実践例を基に講演され「地域の人の学校の協力ができる」「地域の声がありました。コミュニティスクールの効果

豊丘村では、地域が学校を応援する仕組みとしてコミュニティスクールを導入して、二年が経過しようとしています。二十九年度は百二十名を超える村民の皆さんが延べ八百回に達するボランティア活動を展開していただきました。

研修会では、まず、昨年未、ボランティアと教職員を対象に行ったアンケート調査の報告がありました。その中で、ボランティア活動を通じて子供たちを「励まして」いる一方で、実はボランティアの皆さんもまた子供たちからエネルギーをもらっている「励まされている」ことを実感している様子が調査結果から見えてきました。これは教育の営みとして大変重要なことだと思います。

研修会の最後には前下諏訪町教育長の小澤貞義先生が登壇し、同町の実践例を基に講演され「地域の人の学校の協力ができる」「地域の声がありました。コミュニティスクールの効果

学校と地域は Win-win 総合コーディネーター 原 国人

引続き、北小の田圃、畑の指導をされた久保田弘司さん、南小の教室見守り活動をされた上谷みち子さん、中学のバスケット部の指導をされた松村健也さんから活動の様子が報告されました。

引続き、北小の田圃、畑の指導をされた久保田弘司さん、南小の教室見守り活動をされた上谷みち子さん、中学のバスケット部の指導をされた松村健也さんから活動の様子が報告されました。



スリップ事故も多く、普通十分たらずの通勤に一時間以上かかったという話も聞いた。この寒さ、二月四日の『立春』までだと思いたいが、二月に入ってもまだまだ寒く大雪が降っていて、春だなんてとも思えない。

引続き、北小の田圃、畑の指導をされた久保田弘司さん、南小の教室見守り活動をされた上谷みち子さん、中学のバスケット部の指導をされた松村健也さんから活動の様子が報告されました。

スリップ事故も多く、普通十分たらずの通勤に一時間以上かかったという話も聞いた。この寒さ、二月四日の『立春』までだと思いたいが、二月に入ってもまだまだ寒く大雪が降っていて、春だなんてとも思えない。

引続き、北小の田圃、畑の指導をされた久保田弘司さん、南小の教室見守り活動をされた上谷みち子さん、中学のバスケット部の指導をされた松村健也さんから活動の様子が報告されました。

引続き、北小の田圃、畑の指導をされた久保田弘司さん、南小の教室見守り活動をされた上谷みち子さん、中学のバスケット部の指導をされた松村健也さんから活動の様子が報告されました。

## 段丘

カレンダールの一月二十日に『大寒』の文字。一年中で最も寒い時期。確かにそうだろうけど最低気温マイナス十度越えとは。多くの場所です水管が凍結。飯田の親族も集合住宅全体が水が出なくなり、風呂どころかトイレも使えず、二日ほど避難して来た。家の近くの流れのある川も凍っていた。「どじよこ」だのふなっこだの天じよこ張ったと思ふべな」の歌を思わず歌っていた。



# 新成人の抱負

## 平成二十九年豊丘村成人式意見発表より

### 成人式にあたり 思うこと

小園 熊谷 陸



成人式を迎え、改めて思うことは、これまでいろいろな人に会い、様々な経験をしてきたことで『今の自分、自分の夢がある』ということ。保育園のころから、兄の少年野球の練習や試合についていき、小学校四年で当たり前のように入部の少年野球チームに入り

高校卒業後の進路をどうするか…考えるとき、大学へ進学し野球を続けたいと思いつつ、あることを思い出しました。

ある大会の前日、明日はピッチャーとしてマウンドに立たなければならぬのに、肩と肘の痛みがひどく、明日は大丈夫か不安になっていた時に、母が鍼灸師の先生の所へ連れて行ってくださいました。初めての針治療は痛いんじゃないかと緊張しましたが、細い針での治療で痛みはほとんどなく、治療が終わると先ほどまでの痛みはかき消えていきました。翌朝には肩や肘の痛みもすっかり回復して、痛みや不安を感じることなくプレイに集中できました。そして今度は、野球をはじめスポーツをする人が、けがの心配で痛みをかかえてプレイすることなく、存分にプレイできたら…その手助けができれば…と考

が起るということ。そのうえで、生活上起こりうる支障、業務上の支障、環境の変化、移転など、地域の人たちの生命や生活にかかわる変化へのフォローが不可欠であると感じます。

あいに現状は様々な事柄への対処や問題解決に向けた取り組みがやや後手になっているのではないかと、諸事に対応する人員が不足しているのではないかと感じています。事業者は何かを犠牲にしなければならぬ人たちの丁寧な話し合いと、問題解決に向けた前向きな対応の繰り返しが必要だと思えます。完成

### リニア建設に関して 感じること

小園 小木曾謙策

この二年間、村のリニア対策委員として委嘱を頂き、村内でリニア工事の着手するタイミングで進捗状況を知り、置かれた立場で意見をすることができ非常に有意義な経験でした。

私はリニア建設には賛成ですが、リニアが出来るまでの様々なプロセスにやや残念に感じるものがあります。それは、当地域のこれまでの平和な住民生活や自然環境などに必ず影響や混乱

# リニアの声

## 第18回

えらようになった自分がいました。私の気持ちは決まり、鍼灸マッサージの国家資格を取るため、東京医療専門学校に進学し二年が経ちます。勉強するのは医学的なことなので、用語すら難しいのですが、二〇二〇年、東京オリンピック・パラリンピックが開催されるその時に、選手を支える力になれるスポーツトレーナーの道を目指し勉強中です。

### 成人式を 迎えて

中部三 竹村美奈

すべての皆様に心から感謝の気持ちでいっぱいです。今日こうして成人式を迎え、懐かしい仲間や恩師と再会でき、うれしい気持ちでいっぱい自分もいます。成人となった今、何事にも責任が出てくることになり、気持ちを引き締め、これからは今までお世話になった周りの方に恩返しをしていけるよう、しっかりと学び、いろんな経験を積んでいきたいと思えます。



本日、成人を迎えることができ、とても嬉しく感じます。まだまだ長い未来の人生に向けて努力していると思えます。私は、高校から地元を離れ、今年で一人暮らしも五年目となり、現在は短期大学に通いながら、非常勤公務員として勤務しております。時々、家族の様子に心配になったりもしますが、今までの二十年間、様々な形で支えてくれた数えきれない方々への感謝の気持ちでいっぱいです。毎

い事などです。当時は遠い未来の話と感じていた事が、今日の前で現実起ころうとしていきます。

先人たちが夢見た未来を何とかスムーズに、知恵を出し合って多くの方々が幸せに感じられるように進めていってほしいです。



現在の大気の状態を測定 (長野県の大気環境測定車「あおぞら4号」)

【どのような組織に属そうとも、個人として成立していなければ、いずれ淘汰されるのみである」と、私は先生の講義を受けて感じました。

この場には、一人ひとりの二十年間が詰まっています。その中で成人式を迎えたい今、社会から私たちの真価が問われるという事を自覚しなければなりません。しかし、あまり難しく考えず、各々が楽しい日々を過ごすために、これからは頑張りたいです。私も頑張ろうと思えます。

# シリーズ「元氣な高齢者」④ 迷った末の強い決断 今の幸せ噛みしめる

## 毛涯俊子さん 九十一歳

篠 在住



俊子さんは大正十五年、生活物資全般の販売を営む毛涯商店で生まれた。商店は両親が始めたもので、経営は順調であったが、戦況が激しくなるにつれ物資が少なくなり経営的に厳しい状況に陥っていった。一人っ子であったため大事に育てられ、商店の後継者を目指して当時は大変珍しかった女学校へ進められた。

五十歳で自動車の免許を取った。退職後十七年間保健協力員として働き、訪問指導、乳児健診などで村内を隈無く廻った。そんな中で山の奥地の坂道の「Uターン」時に、大変苦勞し本道に命がけであったとの話には、切実感があつた。

健康維持には毎朝のテレビ体操、ストレッチ、約3kmのウォーキング、近くにある「憩いの家」までの徒歩と入浴などで体を適度にほぐしている。またミニデ

教員であったご主人は商売には無関心であったこともあり、店の経営権は知人に譲ることとした。苦勞して守ってきた商店を手放すことに対し、一切を任せてくれた母親には本当に感謝で一杯である。また自分ながら大きな決断であったこと今更ながら思う。ご主人は退職後、資料館に九年間勤めたが大腸の癒着のため三年前に亡くなった。妻の言葉で最後まで信じて安らかな旅立ちであった。

現在の、血圧の薬は飲んで

文責 桐崎 長一



# 公民館学習会閉講

## それぞれが心に残る講座に

平成二十九年度の公民館学習会閉講式が、二月六日に行われました。

の舞台となった浜松を訪ね、より深まった内容となりました。

最初に、松川町教育長・高坂敏明さんによる『笑・緑亭団泥師匠 落語を二席』を開演しました。本場にダンディーな囃子さんと、見惚れてしまった方もいらっしやうたのでは？ 笑い声も上がり、終始和やかな内容で、たっぷり一時間、皆さんも自分の寿命を精一杯生きてください、の締めで終演となりました。

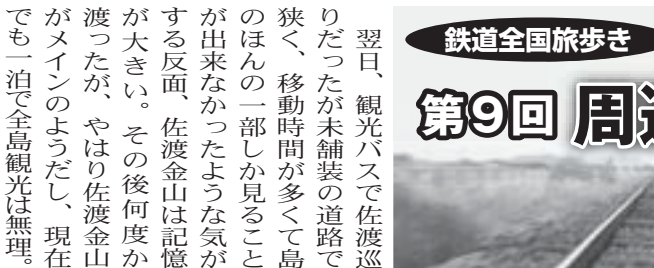
満蒙開拓関連の講座は、平和記念館の三沢事務局長さんと、筒井芳夫さん・大橋春美さんの体験談で二回設けました。それぞれのお立場での思いを熱く語られ、参加された方々の胸を打つ内容だったと感じました。

その他、元信濃毎日新聞論説委員の三島利徳さんの講話は、内容こそ異なっても、共通して、これからの自分の生き方を考える機会となり、また生き生きと暮らしていく力をい

ただき、多くの会員の方に各講座にご参加いただきました。ありがとうございます。平成三十年度は、会員の皆さまからのアンケートを基に計画をいたしました。三月の隣組回覧で会員募集をいたしますので、是非多くの皆さま、公民館学習会にお出かけください。

今年度の内容を振り返りますと、石造文化財を通して、豊丘の歴史を学ぶことから、公民館社会事業「ふるさと探訪」石造文化財めぐりへ発展したり、おんな城主直虎に関する講義に続いてバスハイクで直虎

は資料館で預かってほしい」とのことでした。そこで、三島遺跡を発掘した酒井幸則先生に見ていただいたところ、「四千五百年前の石棒と考えるべきである。特に頭部が二重になっている物は非常に珍しい。出土場所から考えて三島遺跡の出土品とみていいであろう。」との判断をいただきました。



また、「トキ」などは当たり前前に居たので話題にもならなかった。両津港を離れる時ややはりテープと蛍の光で、今思うと懐かしい光景で情緒たっぷり。しかし今は、車ごとまるでベルトコンベアみたいで味気ない。

新潟に戻り、万代橋などを散策してその日を終えた。翌朝新潟から新津まで出る。磐越線は新津からなので、現在は各線相互乗り入れが多いが、当時は特殊な事情が無い限り始発駅は終着駅だった。『ああ上野駅』の歌詞の一部に終着駅は始発駅と有るが、ほぼ何処も歌の通りだった。磐越線は西と東に分かれていて新津から会津若松を径由して郡山までが磐越西線、群山から常磐線の「いわき」までが磐越東線では日本海側と太平洋側を横断している。

照宮と華厳の滝を見れば充分と思いきや足踏ったが、今でも主にはそんなところか。また電車の場合、今でも上野からの直行は無い。浅草から東武鉄道日光線のみ。こうして、また宇都宮まで戻り上野まで。ここで一泊して東海道線を豊橋、飯田線と乗り継ぎ市田へ。途中コース外が在ったがほぼ一周した。しかし、最近は何線が多くなったので周遊コースは困難になった。

は争いが絶えない。悲しいかな、戦後平和国家を築いてきた日本の宝憲法九条を骨抜きにしようとする動きが急である。この考えを勧めようとする政治家がうごめき、その政治家を投票という形で支援する輩が多数いるということである。戦争は強い者が弱い者を力で押さえる。結果は双方共に多くの死傷者を出し、多くの犠牲を出すだけである。勝っても犠牲は多いのです。せめて日本だけでも平和を叫び続けなければならぬと改めて強く思う番組でした。

佐渡へ渡る時、当時新潟港を出航する光景は青函連絡船と全く同じで、五色のテープと蛍の光に送られて。江戸時代は出雲崎から、現在は直江津港が長野県民にとっては定番。今はフェリーか高速船で手軽だが、かつては見えていても往来は大変だったのかも。

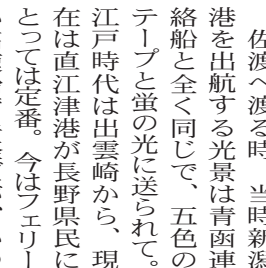
また、「トキ」などは当たり前前に居たので話題にもならなかった。両津港を離れる時ややはりテープと蛍の光で、今思うと懐かしい光景で情緒たっぷり。しかし今は、車ごとまるでベルトコンベアみたいで味気ない。

新潟に戻り、万代橋などを散策してその日を終えた。翌朝新潟から新津まで出る。磐越線は新津からなので、現在は各線相互乗り入れが多いが、当時は特殊な事情が無い限り始発駅は終着駅だった。『ああ上野駅』の歌詞の一部に終着駅は始発駅と有るが、ほぼ何処も歌の通りだった。磐越線は西と東に分かれていて新津から会津若松を径由して郡山までが磐越西線、群山から常磐線の「いわき」までが磐越東線では日本海側と太平洋側を横断している。

照宮と華厳の滝を見れば充分と思いきや足踏ったが、今でも主にはそんなところか。また電車の場合、今でも上野からの直行は無い。浅草から東武鉄道日光線のみ。こうして、また宇都宮まで戻り上野まで。ここで一泊して東海道線を豊橋、飯田線と乗り継ぎ市田へ。途中コース外が在ったがほぼ一周した。しかし、最近は何線が多くなったので周遊コースは困難になった。

は争いが絶えない。悲しいかな、戦後平和国家を築いてきた日本の宝憲法九条を骨抜きにしようとする動きが急である。この考えを勧めようとする政治家がうごめき、その政治家を投票という形で支援する輩が多数いるということである。戦争は強い者が弱い者を力で押さえる。結果は双方共に多くの死傷者を出し、多くの犠牲を出すだけである。勝っても犠牲は多いのです。せめて日本だけでも平和を叫び続けなければならぬと改めて強く思う番組でした。

服休んだ。グーと芝原で眠る人あり、歌を歌うものもありご機嫌様。U家へは別々に戻った。しかしU家には、いつまでもたつても大林の頭まで一緒にきた郎党二人が一向に姿を見せぬ。お祝いの席は一変おさわぎとなり探しに出かけた。夕方薄暗い頃になってようやく二丁の切通し(今は隧道)の上の松山の中で二人を見つけた。当時のことで紋羽織に袴のいでたち、手にはごちそうの重箱を提げて山の中をうろたえている。連れ帰りご祝儀はめでたく行われた。重箱の中の油臭いごちそうを狐にうかがわれて連れられたのか？ 錯覚か？ 昔から大林ではよく狐にだまされた人があったと聞いている。



当時のケーブルカー



『豊丘村民話集』より

### こちら資料館 181

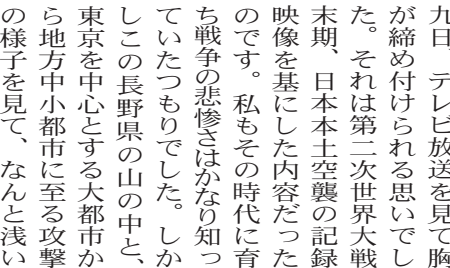
## 三島遺跡の石棒

写真は「石棒」と呼ばれる縄文時代の石器です。男根を型どった物で子孫繁栄を祈る儀式等に使われたと考えられています。昨年の十一月に河野地蔵道「三島遺跡」のすぐ南にお住まいの越野恒久さんからお預かりしました。

越野さんのお話では、「戦後まもない頃の道路拡張工事で家のすぐそばから出てきた物で、長いこと玄関に置いてあったが、今後

ある花崗岩ではなく安山岩からできている事から、おそらく諏訪地方から製品として持ち込まれた物と推測され、当時すでに物品の注文を受けてそれを届ける人や仕組みが存在したのではないかと？の興味あるお話をお聞きしました。

縄文時代は私達が想像するような単なる原始時代ではなかったようです。そんな口マンを付けてくれる「石棒」を是非ご覧ください。



(資料館主任 唐澤武彦)

平成二十九年十二月二十九日、テレビ放送を見て胸が締め付けられる思いでした。それは第二次世界大戦末期、日本本土空襲の記録映像を基にした内容だったのです。私もその時代に育ち戦争の悲惨さはかなり知っていたつもりでした。しかしこの長野県の山の中と、東京を中心とする大都市から地方中小都市に至る攻撃の様子を見て、なんと浅い

錯覚か狐にやられたのか 武田英実

農家の縁組はたいい冬から春先に行われた。このU家でも今日初めてたいい嫁どりの日だ。前日から近い親戚や組合を招いてたいいへんなお祝いである。当時のご祝儀は今の様に相寄つての式場ではなく、各々の家で行われた。当日は早朝からまず婿入りから始まる。婿入りにはお仲人と婿とこれに郎党二、三人連行するのが通例であった。ここの家でも型通りのがん首をそろえて婿入りに河野の嫁様の家へと出かけた。嫁様の家では婿と親との親子盃を飲んだあたいへんなごちそうの接待だ。お祝いをしたたか頂戴して婿と郎党はご機嫌でごちそうを重箱へいたたいて帰ることとなる。今は立派な村道がつくられたが、当時のことで一行は大林の急な坂道を降りについた。そして大林の頭で一

### 投稿

## 戦争を改めて思う

南市場 日下部寛次

知識で知ったかぶりをして戦争の惨めさを話せたものと自分を恥じるばかりです。反面この自然に恵まれた山の中で生まれ育った幸せも感じます。昭和十九年サイパン島が占領されB29爆撃機が日本本土を空襲しサイパン島まで帰島できるようになると、本土空襲はますます激しくなりました。このB29の飛行士だった人(現九十三歳)が「日本には人

文責 壬生雅穂

は争いが絶えない。悲しいかな、戦後平和国家を築いてきた日本の宝憲法九条を骨抜きにしようとする動きが急である。この考えを勧めようとする政治家がうごめき、その政治家を投票という形で支援する輩が多数いるということである。戦争は強い者が弱い者を力で押さえる。結果は双方共に多くの死傷者を出し、多くの犠牲を出すだけである。勝っても犠牲は多いのです。せめて日本だけでも平和を叫び続けなければならぬと改めて強く思う番組でした。



# ～シリーズ～ 豊丘の自然

No.171

トノサマガエル  
(アカガエル科)



「大人が持ちだした意味の曖昧な『物差し』」（信毎二〇一八年一月八日）を象徴する言葉が「化」ではないだろうか。グローバル化、地球温暖化、少子高齢化、自然環境の悪化。

さて、前置きはこれくらいにして、主役のトノサマガエルについて書く。二〇〇四年の「長野県版レッドリスト」には載っていないが、二〇一五年には「準絶滅危惧種」に。理由は河川、湿地、池沼の開発による生息環境の減少、圃場整備に伴う水田環境の変化によって生息数が減少しているとのこと。本当だろうか、確かめたい。加えて、ナゴヤダルマガエルとの種間交雑系統の増加も理由の一つらしい。外見での識別は難しいが、これ又、確かめてみたい。まずは、トノサマガエル。

(山田 栢)



## 石碑は墓とは限らない

第2分館社会部 壬生康正

二月一日に第二分館の分館学習会が行われました。講師に林里の酒井幸則さんをお招きし、「多彩な民間信仰 身近な神仏・生きる拠り所」のタイトルで講演をしていただきました。

最初の「道端にある石碑を見て子供たちはお墓だ、つて言うけど、普通あんなどこにお墓はないからね」の一言に「どきり」とする。もちろん区別がつかないわけでは…ない？という状態だったのですが、豊富なスライドを見ながら、庚申信仰、甲子信仰、養蚕神、馬頭観音、道祖神、十王 etc と感じました。

と習っていくうちに、とりあえずお墓とそうでないものの区別はつけられそうな気になりました。

技術が進んだ今と違い、苦勞して硬い石に彫りこんだであろう文字や、浮き彫りにされた石像には当時の人々の様々な思いや、願いが込められていると感じます。

何げなく道端に立っている石碑にも色々な由来があることに気付くと、何となく今住んでいるところに愛着が湧く気がします。こういった記憶を次の世代に引き継いでいくことも大切だと感じました。



## 工夫をこらした冬の分館行事



## スコーンとお茶で英国風に

第7分館長 三石和志

二月四日、ゆめあるて調理室で第七分館主催の料理教室が開かれました。役場の管理栄養士・仁科朋子先生に「おやつスコーン」と「おかずスコーン」の二品を教えていただきました。スコーンはイギリスのお菓子で、伝統的なティータイムに紅茶といっしょにいただくものだそうです。本来のスコーンは小麦粉で作りますが、今回はホットケーキミックスを使って簡単に作りました。おやつスコーンは力ボチヤを使い甘みを出し、おかずスコーンはツナ缶とチーズで少し塩気を感じるように仕上げました。どちらも調味料を使わないのが特徴です。

試食タイムは本場・英国風に紅茶といっしょにいただきました。参加者からは「やわらかくておいしい」と好評でした。



第一校舎と第二校舎を結ぶすのこ板の渡り廊下



2005年2月当時の豊丘中学校をかきっ子(林)公園より望む

卒業の春がやってくるころ、遙か昔にこの中学を卒業したころを思い出す時、旧中学校舎の様子を思い起こしてみたい。

私が卒業するころ第一校舎と第二校舎の前にそれぞれ二つの庭園が卒業記念として造成された。昭和四十二年から四十二年にかけて庭園が造られ、昭和四十四年から四十六年の三年をかけて、岩石園の造成が行われた。岩石園は採石作業に大鹿村大河原など下伊那各地の岩石を、土曜日・日曜日返上で集めた努力が実ったのだ。そして昭和四十六年二月竣工を迎えたのである。

段丘の上に白く輝く校舎は、木造建築から永久建築の鉄筋構造を県に要望していたが難航、当時の関係者が県へのさらなる交渉により、鉄筋構造校舎第一号となった。昭和三十一年九月

起工となり三十三年四月開校式を迎える。第一校舎は三階建てで、第二校舎は南北中学校舎の一部を移転して理科、家庭科室、特別教室。さらに旧神稲役場棟を宿直室として移転していた。次号につづく。

写真と文／宮下正弘



第一と第二校舎



岩石園と第二校舎



## 懐かしい姿で甦る、白く輝く学び舎1

**公民館親子セミナー**

**♪ファミリーコンサート in とよおか**

**のお知らせ**

日時 4月22日(日) 午前10時～

場所 ゆめあるて大ホール

※詳細は3月配布のチラシ等でお知らせします。

風花や斜めに舞いて消へにけり  
茶の花や待つ人の無き家に入る  
松過ぎの家の静まり風の音  
敬老日園児と共に祝はるる  
雪山を眺めつ散步眩しかり  
初日受く駒の嶺より明ける谷  
庭石の貌それぞれ日向ぼこ  
退院の夫眩しがる冬紅葉  
受験期や虚無のまなざしつづきをり  
天竜川にたち向かひける鴨の群  
段丘を神神し染め初まり  
嫁ぐ娘と作る最後の御節かな  
かわせみに霊をゆだねて蓮枯れぬ

磯部セツ子  
田中 静  
片桐 洋子  
三島 保子  
下平 玲子  
三島 里子  
木下 真水  
松岡 照子  
宮下 公  
宮下 純子  
丸山 時子  
林 恵美子  
北原 昭子



**柳**

〈豊丘川柳クラブ豊柳会〉

▼課題「判」 長谷部良庵 選

直談判出来ればしたい拉致家族 西元 峯子  
縁欠けた三文判も役に立ち 久保ひろし  
判ひとつ押して家産を棒に振る 桃沢 健介

▼課題「参」 長谷部良庵 選

大望の願掛けながら参拝す 吉川 燎  
参道を歩いた今朝の軽い靴 市沢 照子  
いつからか企業参入市田柿 林 桃子  
母さんの顔が嬉しい参観日 原 美風

軸吟…参謀も財布も握る妻元氣

▼自由吟 桃沢健介 選

日本企業質よりコスト不正出る 安田 喜子  
流行の漢字北では寒すぎる 山本 義彦  
酔っていたさあ軍配は立行司 福沢 勝美  
軸吟…さすが国技場外戦も白熱す

〈短歌会 夢あるて〉

右膝を引きずる母を支えもつ吾の手さすり荒れをいたわる 松下 泰見  
元旦の明るき夜空におどろきて孫と仰げる満月なりや 福澤貴美恵  
元旦に寺と神社と墓参りあとは天地の神におまかせ 大原真由美  
窓ごしに冬の日受けて蕾つくブーゲンビリア日毎に紅ます 筒井 恵子  
朝刊に共通一次のりてくる読んでみようか虫めがね持つ 松尾ヒサコ

〈あしたば短歌会〉

「はつらつ」の職員方の細やかな心づかいを日々感じおり 壬生 千春  
道の駅遂に外観現われて完成まじかのオープンを待つ 大倉 知江  
茫茫のなかに過ぎにし九十年アルバムの人ら何を嘲笑 毛涯百合子  
青空と雪被る山見上げつつ凍てつく風に憂う年の瀬 北澤 秀子  
花園のスタンドに湧く応援歌ふと蘇る香き青春 福澤 亀人